

# スポ推よこすか



26号

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

平成26年12月1日 発行

## 藤沢市・大和市・横須賀市三市交流研修会

三市のスポーツ推進委員間の交流を図り、①情報交換②ニュースポーツの実技研修などを行い、委員の資質向上、地域社会体育の推進・発展に寄与することを目的（要旨）とする「藤沢市・大和市・横須賀市交流研修会」が9月20（土）藤沢市秩父宮記念体育館メインアリーナおよびサブアリーナにて開催された。参加者は、事務局を含め藤沢市が46名、大和市が40名、横須賀市が28名の計114名で、各市5～6名ずつのチームを編成（横須賀市は5チーム）し、メインアリーナにてソフトバレーボール試合を行った。コートが6コート設けられ、それぞれ3チームが2試合行った結果、6コートの内5コートで大和市チームが優勝し、辛うじて横須賀市の1チームが1コートで優勝した。ソフトバレーボールの試合後、サブアリーナに移動し、各種ニュースポーツの研修会を行った。シャッフルボード、ラダーゲッター、リングキャッチクロス、フロッカー等のニュースポーツを藤沢市のスポーツ推進委員の方々のご指導の下行った。初めてお目にかかるスポーツが殆どで、参加者の目は輝き、はしゃぐ姿はまるで子供に返ったようであった。

研修会終了後は、藤沢市民会館へ移動し、懇親会となった。そこでソフトバレーボール大会の試合結果の発表があり、なかなかの盛り上がりを見せた。こうして、1日意義のある充実した時間を過ごすことが出来たのは、藤沢市スポーツ推進委員並びに当該市関係者のお骨折りの結果と感謝致します。

来年度は横須賀市の担当となりますので、スポーツ推進委員の皆様にはご協力のほど宜しくお願い致します。



## 第54回 学区対抗成人球技大会（バレーボール）9月7日



主管事業として事前会議から参加しました。歴史ある厳格な競技運営の中でも、勝負だけでなく、選手宣誓のとおり「自宅に戻っておいしいビールを飲む！」ために、楽しむ場面もみられました。試合進行は、横須賀バレーボール協会に依存する部分が多いですが、スポーツ推進委員が審判を行う試合もあり、点示や補助だけでなく運営への参加度が増してきました。

事業部 細川 哲男（走水）



## 新体力測定員講習会

H26年9月14日（日）横須賀市立北体育会館で27名の方の参加を得て開催されました。第一部は「新体力テスト～より効果的に実施するために」と題してスポーツ課三橋課長より講義をいただきました。第二部はスポーツ課前島主査指導主事より、7月27日に開催されました教職員向けに実施されたパワーポイントを使い、新体力テストのやり方や横須賀市の結果や傾向などについて講義を受けました。その後4グループに分かれ相互教授方式（先生役と生徒役を交代で務める）で準備段階から種目別に先生役がポイントと注意事項を説明し実際に測定を行っていききました。種目ごとに先生役を交代し、測る際のコツや生徒への声のかけ方などについても体験し、互いに学び、理解を深めました。学んだことは、自分の学区の小学校や近隣小学校での測定要請の際に、参加してポイントどころを再度把握しましょう。

林 但 副会長（富士見）





## 第55回 全国スポーツ推進委員 研究協議会 岩手大会

岩手県大会は9月25日(木)午後から26日(金)午前にかけて盛岡市内の各会場にて行われました。横須賀市からは、武会長をはじめ、関山事務局を含め8名が参加しました。神奈川県からは百名以上、大会全体としては3千人あまりの参加がありました。初日は、盛岡市の郊外にある盛岡市アイスアリーナにおいて、開会式、表彰式、講演、シンポジウムが行われました。2日目は、4つテーマに分かれて分科会が盛岡市内の各会場で行われました。横須賀市の参加メンバーは「地域の魅力を生かす、スポーツツーリズムの推進」をテーマとした第2分科会に参加しました。大会初日は台風通過の影響もあり、曇天の寒い雨天の中行われました。一変して翌日は、秋の青空が広がる台風一過の晴天の下で行われました。開会式では、達増拓也岩手県知事からはお祝い、谷藤裕明盛岡市長からは歓迎のお言葉がありました。表彰式では、30年勤続スポーツ推進委員として、大楠学区の鈴木貞男副会長、浦郷学区の田中信男氏が表彰されました。講演は、「今を生きる」という表題で、ソチ2014パラリンピック冬季競技会で滑降・スーパー大回転で金メダルを取られたから狩野氏講演がありました。障害者スポーツについて知っていただきたく講演がありました。狩野氏は、小学校3年生の時に交通事故に会い下半身不随となりました。ご家族の積極的な協力もありいろいろなスポーツに経験しましたが、障害者チェアスキーに魅力を感じ、スキーをしたいがために盛岡大学に入学・卒業し、就職した企業の支援もありパラリンピックをめざし活動しています。メダリストとして経験したこととしては、①気持ちで全てが変わられる②感謝の気持ち③努力をして過信ではなく自信をもつ④楽しむことを述べられました。子供たちには、いろいろなことに積極的に挑戦して欲しい。挑戦することで必ず成長があり、その姿を見てもらうことに意義があることを伝えたいとのこと。今を見つめて、しっかりと生きていかなければ、未来は創れないということ伝えられました。シンポジウムでは、「スポーツの力」で地域を元気にというテーマでパネルディスカッションがありました。司会・コーディネーター

は、元NHKのアナウンサーで解説委員、現在、法政大学のスポーツ健康学部学部長である山本浩氏が行いました。シンポジストは、地元のNPO法人まつそのスポーツクラブ理事長の浅沼道成氏、日本スポーツツーリズム推進機構の中山哲郎氏、障害スポーツを研究されている同志社大学大学院のスポーツ健康科学研究科の藤田紀昭教授、日本初の女子スポーツキャスターとして有名なテレビ朝日のエグゼクティブアナウンサーの宮嶋泰子女史でした。それぞれの活動環境でのスポーツへの係わりについて発表があり、スポーツ推進委員への役割提言が語られました。中でも私が衝撃的で印象的だったのは宮嶋さんのお話でした。若い女性のスポーツ参加が少ないことが問題であること。高齢化しているスポーツ推進委員の現状に対して、Who's Nextの観点で東京都では、スポーツ推進委員に若者を登用して、地域活動の活性化に役立っているということでした。また、スポーツ推進委員の女性構成比率は全国平均で30.8%、一番多いのは宮崎県(43.5%)、最も低いのは、なんと神奈川県(19.6%)とのことでした。60歳以上のスポーツ推進委員は若い人を推奨、女性の推薦すること等を提言されました。

2日目は、岩手県民会館中ホールで行われた第2分科会のテーマである「地域の魅力を生かす、スポーツツーリズムの推進」に参加しました。山中哲郎氏がコーディネーターとして3名の発表者を迎えて行われました。スポーツツーリズムでの行事におけるスポーツ推進委員の積極的な協力が期待されました。



表彰者  
鈴木さん・田中さん



開会式

記事・写真 新堀 邦明(富士見)

## 第46回 追浜地区 4学区スポーツ大会

今年で46回目の追浜地区・4学区スポーツ大会が行われました。グラウンドの都合により、10月26日(日)日産グラウンドでソフトボール、11月2日(日)北体育会館でソフトバレーボールと2週続けての大会になりました。ソフトボールは昨年同様、各学区から8チーム、シニアチームと合同チームによる試合が行われました。

打撃戦の試合もあり、見ている方も楽しむ事が出来ました。ソフトバレーボールは、スポーツ推進委員協議会から、応援で審判のお手伝いをさせていただきました。

男女混合チームの男性のアンダーサーブ・スパイク禁止を今年は無くし、力強い男性のスパイクなどもあり見応えのある試合もありました。しかし、優勝したチームは女性チーム。

いつでも女性は強し!!!ですね。

金森 由香里 広報副部長(追浜)



## ウォーキング研修会

11月16日(日)スポーツ推進委員23名が参加した今年度の研修会は、横須賀海岸道路を馬堀海岸からヴェルニー公園までの約6キロの行程で行われました。

今回の研修はただゴールへ向かって歩くだけではなく、協議会の林副会長作成の資料「正しいウォーキングの仕方」に基づいた、いつもとは違った形式で実施されました。

途中、土曜・日曜日に開催されている新安浦港鮮魚直売所の朝市にも立ち寄りしました。委員の中からは初めて訪れたという声も聞かれ、これもウォーキングの楽しみの一つ「新たな発見!」でした。

また、三笠公園では、林副会長の指導の下ウォーキング講座も行われ、参加者全員で正しい歩き方

(足の動かし方、腕の振り方、目線)を実践。ウォーキングは立派なスポーツ。水分補給を怠りなく!あっという間の2時間でしたが、ウォーキングの効果(ダイエット効果・血圧の安定・ストレスの解消等々)を感じさせる充実のひと時でした。継続することでその効果が発揮されるもの。まさに継続は力なりですよ。

岩松 芳宣 広報部(豊島)



### 編集後記

師走に入り、皆様も忙しく体調管理も大変だと思います。睡眠・バランスの取れた食事、それにプラスして適度な運動を取り入れましょう。大掃除をしながらでも全身運動は出来ます。朝、目覚めた後のラジオ体操でもスッキリします。無理のない3033運動を心がけましょう。 広報部長 原 暁彦(長浦)

ホームページ

<http://sukataishi.jp>